



# NEWS Letter

vol.13



とみさと市民活動サポートセンター

令和元年6月12日発行

## 今年度も一緒に！ まちづくりを考え、つくっていく！

人口減少傾向にある昨今。わたしたちが暮らす富里市も、若者世代の就学、就職、結婚などによる市外への転出に拍車がかかると、将来的には「まちの弱体化」も免れません。  
そこで、平成27年度から富里市では「富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（富里市ホームページで閲覧できます）を策定しました。サポートセンターでは4つの基本目標の中の「人と緑が調和し、安心して暮らせるまちづくり」の具体的な施策として「市民等と行政の協働の仕組みづくり」に取り組んでいます。今年度は、その役割を発揮できるようにさまざまな事業を展開していきます！

### 平成31年度のサポートセンターは、 こんなことをやっていきます。

市の策定した「協働のまちづくり条例」に沿った事業の一覧です。

No.	項目	事業名	内容
1	支援補助金の充実	ちい寄附実施	賛同店舗によるチャリティメニューの提供、寄附箱の設置
		他助成金等の情報提供	全国、県内助成金の情報収集・提供
		補助金実施事業のサポート	採択された団体のサポート
2	地域連携の促進	まちづくり協議会の交流会	情報の交換・共有を通じたネットワークづくり
3	とみさと協働塾	マネジメントセミナー	伝わる写真の撮り方・会議運営の方法(グラフィック・レコーディングとは)
4	情報交換の場づくり	若い世代のセミナー	アンケートやヒアリングによるニーズの調査
5	担い手情報の充実と活用	中・高生との連携	中学生の職場体験受け入れ
6	協働のまちづくり講座	居場所運営者交流会	情報交換と課題共有
		夏休み!小学生ボランティア体験	夏休み期間に実施 10団体による受入れ12プログラム、116名募集
		富里高校文化祭でブース出展	高校生のアイデアを活かすブースづくり
7	情報発信ツールの運用	ニュースレターの発行	年4回、2,100部発行。公共施設、関係機関等で配布
		Facebookページの充実	まちづくり、センターや団体イベント等の情報発信
		市ホームページへの記事掲載	実施事業の告知・報告等
		団体情報収集、配架、掲示	ポスター、チラシ掲示、Facebookページでの紹介等
8	市民活動フェスタ	フェスタ開催	年1回開催。第8回は2月8日開催予定。
		ミニフェスタ開催	開催予定

ほかに、相談対応・支援・団体ニーズの発掘等にも力を入れていきます。

# 「持続可能な地域運営組織とまちづくり」 山形県川西町吉島地区での取り組み NPO法人きらりよしじまネットワークの事例を聞きました。

平成31年3月20日、「協働のまちづくり講座@富里中央公民館」にて

今回のテーマは「持続可能な地域運営組織とまちづくり」。現在、少子化に伴う人口の減少や、高齢化社会により地域づくりの人材の発掘や育成が課題となっている中、暮らしの中の課題を住民が自ら解決していく仕組みや、多様な主体がつながり合い、安心して暮らし続けることのできる地域をつくるためのノウハウについて学びました。

「現実を知ることから始めてください。」と繰り返し伝えてくださったのは、今回の講師、山形県川西町にある「NPO法人きらりよしじまネットワーク」事務局長の高橋由和さん。今までの地域づくりシステムを根本から見直し、住民ワークショップを取り入れた地域の合意形成を推進し、全世帯が加入する地域運営組織として持続可能な新しいまちづくりに取り組み、成果を上げているNPO法人です。

## 行政も、市民も、同じまちに暮らす仲間

当日は市職員が30名参加したほか、地域包括支援センター市民活動団体、自治会役員、他市職員など合計80名の参加がありました。アンケートには「長年かけて実績を生み出していること、そのためにどのようなステップが必要かということを分かりやすく解説していただいた」「地域づくりのPDCAサイクル※、手順を学ぶことができ大変勉強になりました」などの記述がありました。講座の満足度も、「満足」が65%、「やや満足」が25%ととても好評でした。



※PDCAサイクル…Plan計画, Do実行, Check評価, Act改善の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する

## ご存知ですか？まずは知ることから。

富里市は 人口50,097人 (平成31年3月末外国人を含む)

認定こども園：2園 保育園：5園 幼稚園：5園

小学校：7校 中学校：3校 高等学校：1校 特別支援学校：1校

区・自治会数 110地区

地域包括支援センター(※) 3ヶ所

高齢化率 27.1%(4人に1人が65歳以上)

サポートセンターでは、まちづくりに関する「知りたい」情報を集めるお手伝いをします。

サポートセンターでは、小学校区を単位とする自治組織のさらなる活性化を目指し、情報交換や課題共有を通じたネットワークづくりとして、「リーダー研修会」を実施していきます。自分たちの暮らす地域が生き生きと、安心な場所になるためにも、今の状況を知ることとは大事なことです。現実を知ると、問題解決の糸口が見えやすくなっていきますね。

(※) 地域包括支援センター…介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関



# サポートセンターの事業報告

## 居場所づくり講座 & せっかく展示会

平成31年3月27日、すこやかセンターを会場に、とみさと協働塾「居場所づくり講座・まとめの会～これからの居場所づくり～一人一人が支えて応援できること」を開催しました。居場所づくり講座は平成29年度から2年間をかけて県内の事例見学会やワークショップ、情報交換会等を実施してきました。今回は2年間のまとめとして、認定NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事の牧野昌子さんと、特定非営利活動法人ウィーズ理事長の光本歩さんに講義していただきました。



認定NPO法人NPOクラブ  
理事の牧野昌子さん

NPOクラブの牧野さんからは、「居場所とは、子どもにもおとなにも次へつなげるステップの場所である」ことや運営について学びました。光本さんからは、「離婚父子家庭の当事者の立場から、離婚によって子どもたちが抱える悩みや、親子の心のすれ違い、第三者が持つ役割」などについて学びました。



NPO法人ウィーズ  
理事長の光本歩さん

光本さんは第三者の役割として、広い視野を持って目の前の子どもにとっての最善を考え、さまざまな視点から子どもの気持ちのカケラを集め、寄り添うことが大切だと話されました。

### 参加者の声

- ・ 実体験に基づきわかりやすく聴講できた。子どもに寄り添う気持ち、心構えが少し理解できた。個人情報保護の関係から実態を知らないのでも市のアピールを！
- ・ 「困った子は困っている子」に共感。エネルギーのない人に頑張れと言ってはいけない、寄り添うものだ。



参加者は、市役所職員26名市民18名

## 出会って つながった せっかく展示会！

今年2月の市民活動フェスタで展示する予定だった（当日は雪のため中止）市民活動団体の掲示物を、せっかくなので展示する会が4月1日から5月末までの2ヶ月間、サポートセンターの交流スペースで開催されました。活動の様子の写真や実際に使っているものを展示したり、団体の紹介チラシを置いたり、工夫を凝らした内容でした。

4期間に分けて14団体が参加した今回の企画では、新たな出会いやつながりが生まれました。「活動に興味があるのでメンバーになりたい」という方、「うちの団体に来て、是非ワークショップをやってほしい」という方、また、活動内容を初めて知ったという新たな発見もありました。

サポートセンターが更に賑わった2ヶ月間であり、今回の企画を通して、参加団体の皆さんの活動に対する熱い想いを改めて感じる事ができました。

地域課題解決に向けて、更にパワーアップしている活動団体の皆さん。今年度の市民活動フェスタが楽しみです！



〈みなさん展示物に興味津々！〉

### 展示会参加団体(展示順)

- ① NPO法人NPO富里のホタル
- ② とみさとドローンクラブ
- ③ 富里市少年少女の翼実行委員会
- ④ とみさとトイズクラブ
- ⑤ ぶれジョブ富里
- ⑥ 富里市ボランティアセンター
- ⑦ NPO法人子どもプラザ成田
- ⑧ 明るい社会づくり運動 富里明社
- ⑨ 富里チャレンジクラブ
- ⑩ 軽便鉄道を考える会in富里
- ⑪ 富里市ファミリーサポートセンター
- ⑫ こども食堂・とみさと
- ⑬ 富里マエストロス
- ⑭ 協働つなぎ隊



# おめでとうございます！ 「第21回日本水大賞」 文部科学大臣賞受賞！

**受賞団体** 特定非営利活動法人 NPO富里のホタル  
**活動の名称** 印旛沼源流域(高崎川周辺)での里山保全活動と環境教育

**受賞の理由** 上記の活動が、環境保全意識を次世代につなげていくという目的の下で、年齢に応じて学ぶ意欲を増進させる学習内容の設定という実効性の高い手法により、多くの環境教育への取組みの中でも優れた取組みとして高く評価できる。

☆日本水大賞委員会と国土交通省主催「日本水大賞」は、21世紀の日本のみならず地球全体を視野に入れて、水循環の健全化を目指し、美しい水が紡ぎ出す自然の豊かさの中にも水災害に対して強靱な国土と社会の実現に寄与することを目的としています☆

# 今年も盛り上がりよう！ 夏休み！ 小学生ボランティア体験

富里市では、社会貢献活動への関心を高めるため、夏休みの期間中、市内の小学生を対象に、小学生ボランティア体験を実施します。期間中は、10団体が12のプログラムを提供します。体験の様子は当センターのFacebookページでご紹介しますので、ぜひご覧ください。



昨年の様子

## ブースの使用について

サポートセンター内にある市民活動ブースは、登録されている団体は無料で使用できます。ご予約は月2回まで可能です。ブースが空いている時はいつでも使用できますのでお問い合わせください。

## 開所時間のご案内

- 午前9時～午後5時  
※土曜日でもご利用いただけます  
※金曜日のみ、ご予約いただければ午後9時まで使用可

## 休館日

- 毎週水曜日・日曜日・祝日  
年末年始(12/29～1/3)・お盆(8/13～15)

<連絡先>とみさと市民活動サポートセンター  
〒286-0292 千葉県富里市七栄652番地1  
(富里市役所敷地内 すこやかセンター1階)

- TEL/FAX: 0476-93-4123
- E-mail: tomisapo@bz04.plala.or.jp
- Facebook「とみさと市民活動サポートセンター」



編集後記：6月下旬に開催される、富里市内でも最大級のイベント「富里スイカロードレース」には、運営スタッフの多くが市内ボランティア。市民みんなでおもてなしをするので、富里らしい、アットホームなイベントです。スイカの出荷も最盛期！遊びに来てください♪

次回は令和元年9月予定 (年4回発行)

発行部数：2100部 配布先：市内公共施設他

## 団体のPRやイベントの告知、 報告などで活用したい 写真の撮り方講座

## 講座 のお知らせ

第1回 「伝わる写真の撮り方」講座(2回連続講座)  
会報やチラシを作る時、相手に伝わる写真とは？  
第1回目はワークショップを交えながら  
楽しく写真の撮り方を学びます。

日時：令和元年7月20日(土) 定員：30名  
10:00～12:00 参加費：無料

締切：7月9日(火)※定員になり次第締切り

会場：当センター内市民活動ブース

- 持ち物：●団体活動写真1枚(あれば)  
●好きな写真の切り抜き3枚まで  
(雑誌の切り抜き等)  
●撮影できるもの  
(携帯電話でもOKです)

申込み：サポートセンター  
0476-93-4123

講師：横山春菜さん  
フリーカメラマン。東京理科大学卒業。  
徳間書店の月刊誌編集者を経て独立。  
書籍の表紙など幅広く活動している。



## ◎とみさぽ Facebook ページ 好評発信中！◎

皆さんにもっと市民活動を知っていただきたい、一緒にまちづくりを盛り上げていただきたいという想いを込めて、フェイスブックを通じて市民活動の紹介や、市内で行われる催しなど、身近な情報を盛りだくさんの内容で発信中です！フェイスブックに登録していなくても、アクセスできます。下のQRコードを読み取るとすぐに閲覧できます。

「とみさぽ Facebook」

検索

